

武蔵野



武蔵野支局 〒180-0006
 武蔵野市中町1の13の1 3F
 電話 0422(51)3131
 FAX 0422(51)3133
 musasino@yomiuri.com
 都内版編集室
 電話03(3217)1465・1466
 江東支局 電話03(3631)6116
 立川支局 電話042(523)4477
 ホームページ
 www.yomiuri.co.jp/local/

購読は
0120-4343-81

【広告】読売Palette
 03(6272)9027
 【折込チラシ】 0120-03-4343
 【読売旅行】 03(5550)0666

3月19日(金曜日)
 旧 2月7日<友引>

| | | | | |
|----|----------|----|--------|------|
| 通日 | 78 | | =東京標準= | |
| 月齢 | 5.7 (正午) | | 満潮 | 7.23 |
| 日出 | 5.46 | 干潮 | 20.34 | |
| 日入 | 17.52 | 干潮 | 1.34 | |
| 月出 | 8.51 | | 14.11 | |
| 月入 | 23.15 | | (中潮) | |

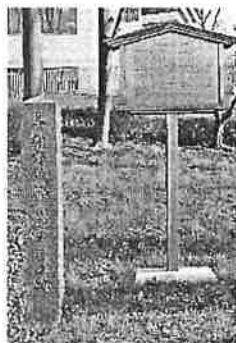
あすの暦

国木田独歩の「武蔵野」が渋谷村で書かれたことはよく知られていますが、実際に渋谷で暮らしたのは半年余りでした。「今の武蔵野」として「国民之友」に連載された時には赤坂に転居しています。

文人の武蔵野

「非国民」投石され転居

与謝野鉄幹・晶子夫妻 ④



千代田区富士見の与謝野鉄幹・晶子の居住跡に建てられた碑

「武蔵野に沿へる渋谷の里すまひ」を始めています。二人が渋谷村に住んだのは3年ほどですが、同じ村の中で二度転居をしています。最初は「みだれ髪」を出版した直後、結婚のための引っ越しでした。うか。一度目は、長男と次男(年子)が生まれるはざまでした。

渋谷村を離れたのは1904年(明治37年)、同じ豊多摩郡の千駄ヶ谷村に住居を移します。晶子が「君死にたまふこと勿れ」を発表した直後のことです。日露戦争に熱狂する人々から非国民という誹りを受け投石などされていたので、愛児を守るための避難だったのでしょう。千駄ヶ谷は、独歩の「武蔵野」でも「東京近郊」の武蔵野として登場する村でした。4年余りを過ごした千駄ヶ谷時代に晶子は、「むさし野は百鳥すめり雑木の林につづくかや草の原」と詠んでいます。

神田時代を挟み、10年からの17年間は麴町区内で借家暮らしを続けます。その間に武蔵野を詠んだ歌は少なく、晶子の作に「秋の草みなしろがねの竹に似ぬ野分の通るむさ

し野の原」と「むさし野の蒲田の薔薇の園を行く夕闇どきの水の音かな」があるくらいでしょうか。

与謝野夫妻の作品に武蔵野歌が増えるのは、スペイン風邪と関東大震災を経て、井荻村に自家を新築するまで待たねばなりません。

(武蔵野大教授、むさし野文学館館長・土屋忍)

おすすめの1冊

「与謝野晶子評論集」

岩波文庫の「与謝野晶子歌集」は晶子の自選歌集ですが、「与謝野晶子評論集」は女性史にも詳しい歴史学者が編集しています。11人の子どもを育てた母としての実感や歌人の感覚に基づく社会時評やエッセイは、現代を生きる私たちにも訴えかけてきます。



(鹿野政直・香内信子編、岩波文庫)